

全東京写真連盟

撮影会写真コンクール

入賞作品集



審査対象 川越水上公園水着モデル撮影会

撮影日 2024年05月05日

審査日 2024年07月15日

審査員: HARUKI先生



金賞
「恋したら騒がしい風が吹き」
星野 祐一 様
モデル 瓦林 桜

審査員：HARUKI先生 講評

今回の審査会場でも数多くの応募作品がズラッと並べられた中で一段と目を惹かれた1枚の写真。ひと言で云うとモデルのキュートなスキマを捉えた一瞬、それに尽きます。いかにも「撮ります」とか「撮られます」という感じの写真が多い中、そこから逸脱した自然体あるいは自然体っぽく見える?? (笑)の瞬間にとても感動しました。モデルさんも多少意識していたのかも知れませんが、この瞬間を捉えたカメラマンの勝ちですね!!



銀賞
「fantasy」
小倉 良二 様
モデル 彩兎宇 すず

審査員：HARUKI先生 講評

ブルーグリーンの地面を水に例えて反対色のマゼンタのスイムウェアで架空のプールを泳ぐスイマーの姿。ある種100年前に流行った前衛的芸術集団バウハウスのコンセプチュアルアートのポスターのようにも見え、この夏のパリオリンピックを讃えるかのようにも見える不思議な作品です。全東京写真連盟をはじめ大人数のモデル撮影会ではなかなか見かけないタイプのチャレンジングな写真ですし、これからはこういったアートを意識したモデル写真も意欲的に発表していくことも大切なのかと頷けます。とてもユニークな試みです◎



銅賞
「プールサイド・アート」
栗原 恵一様
モデル 池内 理那

審査員：HARUKI先生 講評

銀賞作品ともかぶるようなコンセプトですが、こちらは艶めかしくも美しい姿態のモデルさんそのものをオブジェ化したようないわば理想の女神像と呼んでも良いまとまりのある作品となっています。こちらのモデルさんの写真は圧倒的に応募が多かったのですが、「セクシーさ」を前面に捉えようとしているグラビア的な要素が強い写真がほとんどを占める中で一際異彩を放っていたのが目を惹かれました。グラビア的なセクシーな写真も決して悪いわけでは有りません。ただし他の人よりも群を抜いてかつ違ったアプローチで素晴らしい作品を創らなければなりません。今回はコンセプトありきに軍配があがりました☆



入選
「Love was when I loved you」
門間 正之 様
モデル 池内 理那



入選
「夏色片想い」
寺島 弘行 様
モデル 池内 理那



入選
「微笑み」
鵜飼 典彦 様
モデル Haru



入選
「夏の日差しの中で」
金澤 義夫 様
モデル 池内 理那



入選
「2024夏！！」
藤井 理智 様
モデル 池内 理那



佳作
「帽子の女」
石川 玲 様
モデル HIMECA



佳作
「虹色」
小幡 大輔 様
モデル 優木 音葉



佳作
「熱視線」
田沼 靖信 様
モデル HIMECA



佳作
「ロングヘアー」
内藤 勝之 様
モデル 池内 理那



佳作
「ロックオン」
小野寺 基之 様
モデル 彩兎宇 すず



佳作
「夏色の微笑み」
佐藤 和明 様
モデル 瓦林 桜



佳作
「Cool」
井原 亮祐 様
モデル Haru



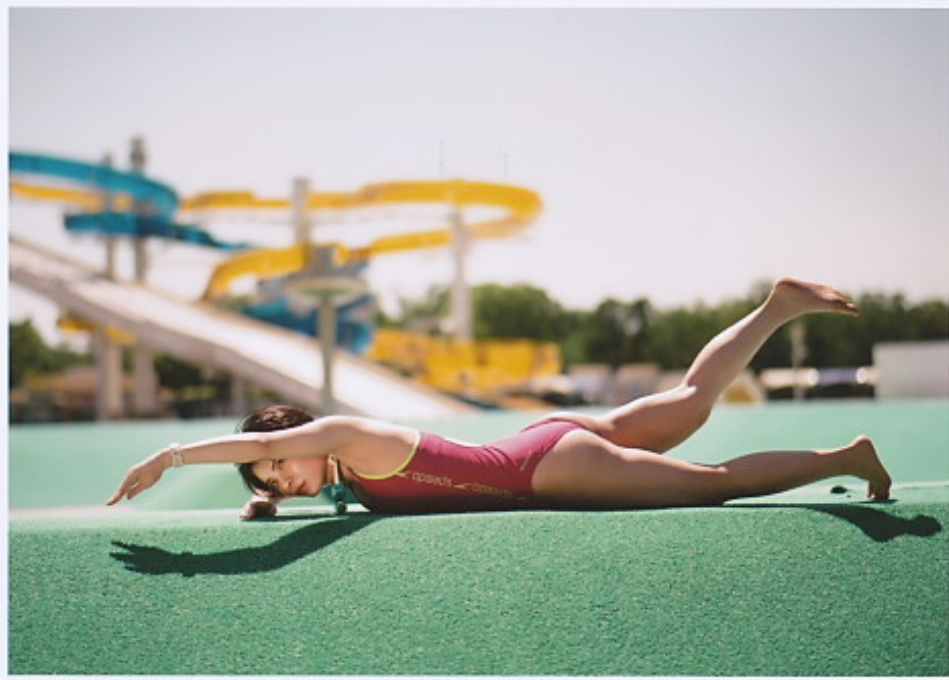
佳作
「モンロー再来」
高橋 伸幸 様
モデル 彩兔宇 すず



佳作
「風になびく髪」
及川 昭夫 様
モデル HIMEGA



佳作
「瞳」
鈴木 幸彦 様
モデル 彩兎宇 すず



次点
「クロール」
湯原 章綱 様
モデル 彩兎宇 すす



次点
「想い」
荒井 秀雄 様
モデル 池内 理那



想い
「瞳」
豊田 光司 様
モデル 池内 理那



次点
「チャーミングな微笑」
池田 道政 様
モデル Haru



次点
「夏の思い出」
佐久間 裕史 様
モデル 池内 理那



次点
「理那の肖像」
村岡 雅之 様
モデル 池内 理那



次点
「夏が来た！」
岸野 孝博 様
モデル Haru



次点
「花開く」
木村 正吾 様
モデル 瓦林 桜



次点
「Summer girl is sexy」
成田 誠宏 様
モデル 彩兎宇 すず



次点
「プールサイドカーブ」
米村 充男 様
モデル 池内 理那

【 動きを意識してみる 】

同じ場所での撮影がどうしても多くなるのは致し方ない事です。ですがその中でも壁により掛かったまま、2, 3のポーズを変えながらジーツと突っ立ったまま、というモデルさんがたまにいらっしゃいます。静かな写真もそれはそれで良いのですが「静」が目的ではなく、動けない、或いは動こうとしない、結果「動」じゃないタダの無意味なポーズや覇気の無い表情となってしまうという場面が多く見受けられます。

動きまわれば良いというものでもありませんが、モデルさんにもっと「動感表現」が出来るようにカメラマン側から指示する、或いはモデルさん自身がもっと今自分が何をどう為すべきか？を意識して挑んで頂きたいと思います☆

HARUKI